

## 一 世界広布と創価学会②日顕宗を破す

※悪と戦う意義を踏まえて、後の語群から言葉を選んで次の文章を完成させなさい。

御書に「如かず彼の万祈を修せんよりは此の（ ）を禁ぜんには  
「いかなる（ ）をつくり（ ）を十万部読み書きし一念三十の觀道を得たる  
人なりとも（ ）をだいじも・せめやれば（ ）あらがたし」とあるより  
に、仏法を正しく実践するうえで重要なことは、（ ）を妨げる悪縁となる（ ）  
と戦い抜くことです。悪を責めなければ（ ）はないとの確固たる断言です。  
現代における一凶とは（ ）、（ ）にほかなりません。

※宗門事件の経過を踏まえて、後の語群から言葉を選んで次の文章を完成させなさい。

大聖人の広宣流布の精神と実践は（ ）に正しく継承されました。  
しかし時代を経る毎に形骸化し、葬式仏教と化していく、創価学会創立時には日蓮正宗宗  
門は法滅状態でした。  
日顕が法主になって以来、さらに仏法破壊が進み、創価学会と池田先生への嫌妬から学会  
破壊を日論み始めました。  
平成2年、日顕は創価学会を切り捨てて一部の会員信徒を宗門側に隸属させるため、「  
創価学会分離作戦」を企てました。彼らはこの陰謀を（ ）と呼びました。

一凶	大善	成仏	得道	味方	法華經の敵 <small>かたき</small>	法華經	善知識
功德	日顕	創価学会	○作戦	○作戦	分離作戦		

※日顕宗の大罪と邪義について、文証を挙げて破折した文章です。語群から言葉を選んで  
文章を完成させなさい。

### ① 広布破壊の謗法

「大願とは（ ）なり」「（ ）の大願」とあるように広宣流布は  
（ ）の御遺命である。  
しかし日顕宗は広宣流布をすすめる（ ）を破壊しようと（ ）作戦を  
企てた。これは広宣流布破壊であり、一切衆生の救済を目指した（ ）  
心に背く大罪である。

### ② 法主信仰の邪義

日顕宗は「法主は絶対である」「法主も信仰の対象である」と主張するが、そのような  
ことは大聖人の（ ）のど／＼にも書かれていない。それどころか「時の貴首（か  
んす）為りと雖も（ ）に相違して（ ）構えば之を用う可からざる事  
事」と厳しく戒められている。  
法主絶対論を主張する日顕宗は、邪宗教そのものである。

### ③ 誤った血脉観

日顕宗は法主相承を受けるだけで仏の悟りを得るという神秘的血脉觀を主張するが、大聖人は「日本國の（ ）に法華經を信せしめて仏に成る（ ）」を継ぎしめん」と、血脉とは正しい（ ）の一件事であると明言されている。さらに「（ ）の血脉なくんば法華經を持つとも無益なり」と喝破やがれていふ。広宣流布を推進する創価学会を迫害する日顕宗にて、信心の血脉は存在しない。

### ④ 僧俗差別

日顕宗は「僧侶が上で在家は下」と主張するが、大聖人は「（ ）は嫌うべからず」と、一切衆生は平等であると明言されている。僧俗を差別する「」とは万人がもつてゐる仮性の否定であり、仏法の本質を見失つてゐる。

### ⑤ 化儀の悪用

日顕宗は成仏するためには戒名や塔婆、僧侶による葬儀などが必要と主張するが、大聖人は「過去の慈父尊靈は存生に（ ）と體えしかば即身（ ）の人なり」と、成仏は生前の（ ）・実践によると明言やがれていふ。僧侶が不可欠などと邪義を構える「」と自体が仏法破壊である。

### ⑥ 腐敗墮落

豪遊など腐敗墮落した日顕をはじめとする日顕宗僧侶は、大聖人が「（ ）の皮を着たる畜生」「（ ）がき」と厳しく戒めた惡僧の姿そのものである。

男女僧尼	広宣流布	創価学会	食法	成仏	法主相承
御書	仏法	法華弘通	己義	一切衆生	信心
南無妙法蓮華經	法師	日蓮大聖人	血脉	A	懷柔
				B	
				C	

※日顕宗の邪義と、その破折の拠所となる御書の御文を線で結んで下さい。

- ① 広布破壊の謗法
  - ② 法主信仰の邪義
  - ③ 誤った血脉觀
  - ④ 僧俗差別
  - ⑤ 化儀の悪用
  - ⑥ 腐敗墮落
- ・ 「法師の皮を着たる畜生」「食法がき」
  - ・ 信心の血脉なくんば法華經を持つとも無益なり
  - ・ 時の貴首為りと雖も仏法に相違して己義を構えれば之を用う可からざる事
  - ・ 大願とは法華弘通なり
  - ・ 過去の慈父尊靈は存生に南無妙法蓮華經と體えしかば即身成仏の人なり
  - ・ 男女僧尼は嫌うべからず